



ル・ピュイからサンティアゴ・デ・コンポステーラまで全行程を歩きたいところですが、1,200〜300kmはとても歩く自信がありません。旅行社の企画でザリアから最後の100kmのみを歩くツアーに参加しました。カミーノ・デ・サンティアゴ(サンティアゴ巡礼の道)は世界遺産で、熊の古道と姉妹関係にあります。サンティアゴ・デ・コンポステーラは、ローマ、エルサレムと並んでキリスト教の三大聖地です。

スペインは勿論、世界各国から巡礼に來ています。スペインの中学生も団体で歩いています。日本の若い女性も一人で、ピレネーのフランス側のサン・ピエド・ポーから30日ほど歩いて來られたのに会いました。チエコの64歳の女性は、6月2日にチエコから5ヶ月かけて

350km歩いて來られました。私たちの巡礼団は、現地ガイドのディエゴ氏と旅行社の添乗員と参加者11名です。

10月13日(火)  
関西空港から空路パリを経てマドリッドに着き、夜の9時からバスにて深夜12時ブルゴスのホテルに到着。

10月14日(水)  
ブルゴスのカテドラル他の観光とクレデンシヤル(サンディアゴ巡礼帳)の取得。

10月15日(木)  
17日(土)  
(ブルゴス→レオン→サリヤ)バスにて各地の教会やロマネスク建築、世界遺産の観光と少しだけ巡礼道を歩きました。

10月18日(日)  
23日(金)

(サリヤからサンティアゴまで100km) (徒歩)

なだらかな丘陵の上に牧草地が広がり、不規則な石垣が連なり数軒ずつ家々が点在する。村には必ずお堂のような小さな石積み教会がある。オークや栗が植えられ、栗の実は拾う人もなく道端の牛糞にまみれている。戦前の日本の農村を歩いている気分だ。

天気の良い日は見晴らしも良く、村々にあるアルベルゲやバールでビーノやカフェ、時には昼食もいただき、ついでに便所



も借りる。一日平均15kmと

日本の食事時より2時間遅いスペインのペースに合わせて、のんびり6日かかってサンティアゴ・デ・コンポステーラに到着。巡礼教会にて徒歩で巡礼したラテン語の証明書をいただきカテドラルに行く。内陣のサンティアゴ様の背に抱きついてお祈りをし、地下の聖遺物に詣でる。

10月24日(土)

12時からカテドラルで巡礼者のためのミサが行われる。聖歌とオルガン演奏、1m余の大



香炉が振られるボタフミイロという儀式に感動、思わず涙が出てしまった。

イワクラと関係あるかどうかわかりませんが聖地の探訪ということで報告します。いつの日かフランスの聖地ル・ピュイを訪れたいと思っています。

了